

【機械・ロボット科2年】アーク溶接実習3



令和3年12月、機械・ロボット科2年生の実習において、アーク溶接を行っています。

アーク溶接とは、空気（気体）中の放電現象（アーク放電の熱 5000～7000℃）を利用して、同じ金属同士をつなぎ合わせる溶接方法で、用途は広く、自動車、鉄道車両、船舶、航空機、建築物、建設機械など、あらゆる金属構造物に一般的に使われています。

3年次では炭酸ガスアーク溶接・スポット溶接、TIG溶接を学びます。